

国営かんがい排水事業「多良間地区」 の事業化に向け土地改良総合事務所 宮古支所を開設

沖縄総合事務局は、本地区の事業化に向けた計画策定を推進するため、令和3年4月1日に「土地改良総合事務所宮古支所」を開設しました。



多良間村(多良間島(下)、水納島(上))

多良間島(多良間村)は、沖縄本島から南西に約360キロの宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、島の基幹産業としてさとうきび、葉たばこなど亜熱帯気候の特性を利用した農業が展開されています。しかしながら、島には河川がなく、農業用水は主に降雨に依存していることから、不安定な農業生産を余儀なくされており、さとうきびの収量向上や高収益作物導入などに困難を来している側面もみられます。



集水池

(畑に降った雨を既設集水池と新設集水池に集水し水源にする計画)

このため、沖縄総合事務局では、平成31年度から多良間島に広がる約750ヘクタールの農地に農業用水を供給するため、国営かんがい排水事業「多良間地区」の計画策定に取り組んでおり、今般、取組をさらに加速するために土地改良総合事務所宮古支所を開設しました。

本事業では、農業用水の安定供給を確保するための集水池をはじめ、貯水施設や用水路等の基幹的な農業用水利施設を整備することとしており、関連事業で整備される末端用水路等と相まって、農業生産性向上を通じて農業経営の安定を図ることとしています。

お問合せ先
農林水産部 農村振興課
土地改良総合事務所宮古支所

☎0980-79-5087



パッションフルーツ



かぼちゃ

(野菜、果樹などの実証栽培の様子)